

金城大学との意見交換会で寄せられた意見（令和7年12月協議）

(テーマ)・多様な声を行政にどう反映させるか

No	金城大学からの主な意見	常任委員会での協議内容（執行部からの回答）
1	<p>白山市内は無人駅があり、夜間は防犯の観点から不安である。「防犯カメラあります」といったポスターを張り出すだけでも違うと思うので、掲示を検討してほしい。加賀笠間駅及び美川駅前も暗い。</p>	<p>【総務企画常任委員会】</p> <p>加賀笠間駅及び美川駅につきまして、防犯カメラは加賀笠間駅前に6基、同駅東口前に2基、美川駅の日本海広場に2基、同駅白山広場に1基設置しております。また自転車駐車場に防犯カメラ設置中のステッカーを掲示しております。夜間は防犯の観点から不安とのことですので、その不安払拭のため、さらに防犯カメラ作動中というポスターを管理者の了解を得た上で駅舎に掲示したいと考えております。また加賀笠間駅前及び美川駅が暗いということですが、現場を確認しましたところ、一定の照度を満たしていると考えております。ただ、このような声があるということを知り、これを白山警察署と情報共有するとともに、パトロールなどの実施を白山警察署に依頼し、不安感の払拭に努めてまいります。</p>
2	<p>コミュニティバスめぐーるは日曜日が休みのため都合が悪い。電車やバスの本数を増やし、公共交通機関を充実させてほしい。</p>	<p>【総務企画常任委員会】</p> <p>公共交通を今以上に充実させてほしいという思いは学生さんも市民の方々も我々行政も同じであります。ただ先日の一般質問でも話題になっているように、全国的にバスの運転手不足が課題となっている中、現状のダイヤを維持していく、守っていくために交通事業者、行政、また市民の方々も共に考えていく重要なポイントとなっているのが現状であります。その中で、コミュニティバスめぐーるの日曜日運行という話題になっております。現状コミュニティバスめぐーる運行の第1優先としましては、平日より需要が見込まれない日曜運行よりも、毎日利用する中・高校生の学生さんや通勤者の移動手段の確保、また高齢者の日常の買物や病院への通院利用など平日運行を優先しておりますので、御理解いただきたいと思います。</p>

<p>3</p>	<p>若者や女性など、多様な意見を行政の取組に反映させるため、SNSでの情報発信やスマートフォンを活用したアンケート等を行い、意見を収集してはどうか。</p>	<p>【総務企画常任委員会】</p> <p>市長への提案メールの仕組みで広く御意見を受け付けております。また特定の事業、例えば計画の策定などに関する幅広い御意見の収集は担当課で対応しており、近年ではスマートフォンやパソコンからの回答収集も増えております。市長への提案メールでは、担当課にて現状確認や調査、回答案作成を行い、市長の決裁をもってシティプロモーション推進課から本人に回答しております。なお、市ホームページや公式LINEから提案メール問合せフォームにたどり着くことが可能ですので、御活用いただければと思います。</p>
<p>4</p>	<p>若者が政治を身近に感じられる取組（主権者教育、政治参加意識の向上）として、小・中・高校で政治に関心が持てる機会を設けてはどうか。</p>	<p>【文教福祉常任委員会】</p> <p>政治に関心が持てる機会として、小・中学校ともに社会科の学習があります。具体的には小学6年生の社会科の私たちの生活と政治において、身の回りにある政治や政治の役割、暮らしと日本国憲法のつながり、そして国民主権の原理である一人一人が国の政治に主体的に関わること、選挙によって代表者を選ぶ意義などを学んでいます。</p> <p>また、中学3年生の社会科においても、現代社会と私たちにおいて国民主権と国民の責任、政治参加、そして現在の民主政治と、社会においては、政治と民主主義、選挙の意義と仕組み、選挙の流れ、政党の役割などを学んでいます。さらに白山市では、模擬議会でもある白山市子ども会議を開催しています。子供の意見表明の場として意見交換し、政治に関心が持てる機会の1つとなっていると捉えています。</p>